

みんなの
暮らしを
支える
仕事です

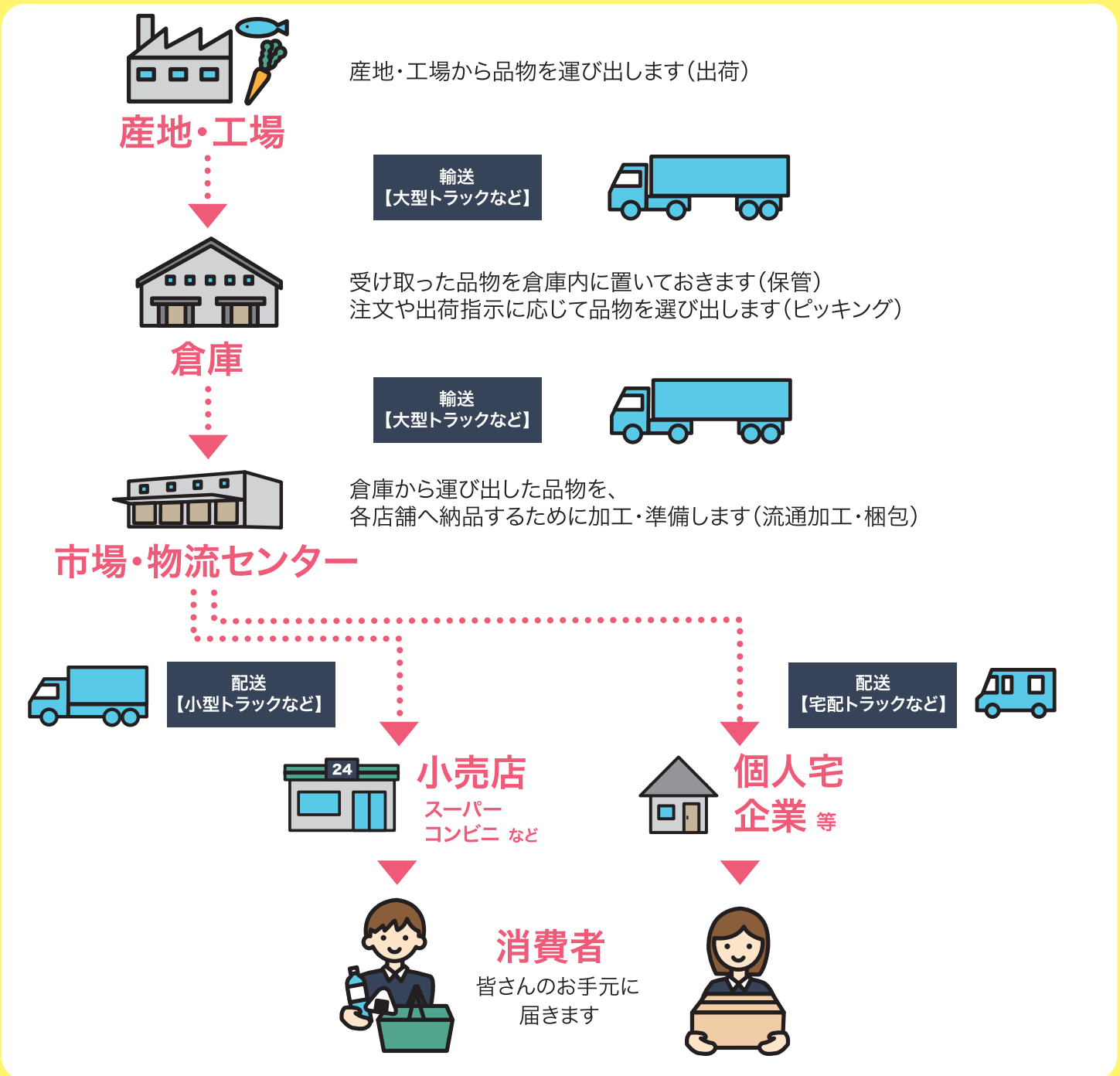


知っていますか？物流とトラックドライバーの話



これ、物流の仕事です。

コンビニの食料品、アパレルや雑貨屋の文房具から、住宅建材やロケット部品まで。
モノが産地や工場から、消費者(企業や一般消費者)のもとに届くまでの流れのことを、「物流」といいます。
物流とは、モノを届けることを通して人と人とをつなぐ仕事です。



災害時の緊急物資輸送

災害時は、国や自治体と連携し、緊急物資輸送を行っています。
東日本大震災(2011年)、熊本地震(2016年)、西日本豪雨(2018年)の際には、全国から多くのトラックが出勤し、支援活動を行いました。生活必需品などを被災地へ届けるトラックは、ライフラインの役割も果たしています。



出典:全日本トラック協会

知っていますか？

物流を支えるプロのトラックドライバー

物流を支えるのは「プロのトラックドライバー」。

トラックといっても、大きさ、運送形態によりさまざまな種類があります。

トラック運送業を理解するために、配送形態により働き方に違いがあることを知っておく必要があります。

中・長距離輸送

主に 工場～倉庫・センター間の輸送



高速道路等を利用し、休憩や休息を取りながら、地域をまたいで活躍します。

主に中型・大型トラックを扱う、「トラックドライバー」の代表格！

ここが
魅力！

- ・ 大型車を運転できる
- ・ 全国のいろいろな地域へ行ける
- ・ 一人で過ごす時間が多く、やりがいと達成感が大きい

地場配送・ルート配送

主に センター～企業等への輸送



主に日帰りが可能な近場への配送が多く、生活に密接した場所で活躍します。

普通免許で運転できる車両もあります。

ここが
魅力！

- ・ コンビニなど、生活に密接する場で活躍できる
- ・ 日帰りが多く、子育てや家事と両立できる

宅配配送

集配所～企業等・個人宅への配送



現代の生活に欠かせない宅配便。

集配所から、個人宅や企業へ荷物を届けます。

一般のお客様に近い場所で活躍する「ドライバーの顔」！

ここが
魅力！

- ・ お客様に触れ合う機会が多く、感謝の言葉をかけてもらえることも多い

トレーラー(けん引)・タンクローリー など



トレーラー・タンクローリー・ダンプカーなどの特殊な車両で、大量の荷物を運搬します。

積み荷は機械で操作するため、体力的な負担は少なめ。

ここが
魅力！

- ・ 特殊な車両を運転できる
- ・ 体力を使う場面が少ないため、女性でも活躍できる

???\ ホントはどうなの? / トラックドライバーQ&A ???

Q 交通事故が多そうだけど、実際どうなの?

A 10年前と比較すると、事業用トラックの事故は約40%減少。安全に対する取り組みや安全機器の導入により、安全性は高まっています。

安心で安全に荷物を届けるために、運行開始前の車両点検やアルコールチェックの実施など、様々な取り組みが行われています。近年では、車両への安全機器の導入が進んでおり、安全性は高まっています。

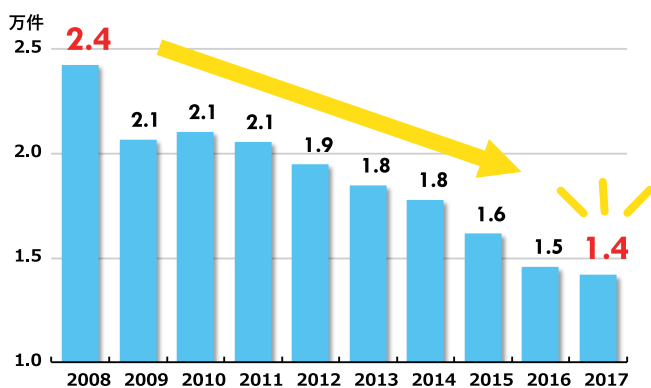
トラックの安全装備



出典: 全日本トラック協会

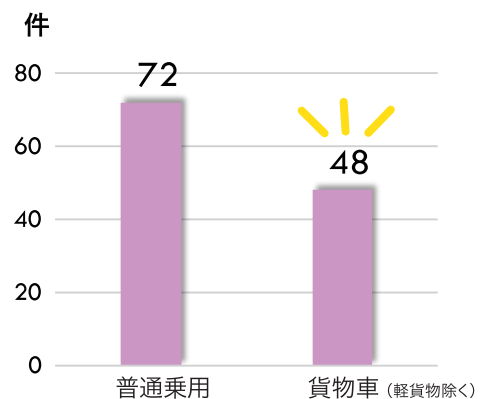
事業用貨物自動車(トラック)による死傷事故の件数は、ここ10年間で約40%減少。走行距離あたりの事故発生件数は、貨物車(トラック)より乗用車の方が多く、トラックだけが事故のリスクが高いとはいえないのです。

事業用貨物自動車の死傷事故件数



データ: 事業用貨物の交通事故の発生状況(2018年8月)

1億走行キロあたりの事故発生件数



三井住友海上「全自動車事故の発生状況(2014年)」より作成



未経験でも大丈夫？ 教育や研修制度はあるの？



一人立ちするのはしっかりと研修を受けてから。
安心して運転技術を身につけられます。

初任運転者には国土交通省が定めた研修(初任教育)が義務付けられています。
研修の中には、トラックの安全な運行に関する講義等のほか、先輩ドライバーの運転に同乗する指導、先輩ドライバーが同乗する訓練があり、一人で安心して運行できるよう教育を受けたのち、一人立ちします。



なかなか家に帰れない長時間労働って聞くけど…



輸送形態や荷物によって、働き方はさまざま。
労働時間は「運行管理者」が管理します。

運送業の労働時間等は厚生労働省が定める労働時間の基準を基に定められています。
また、ドライバーの負担を軽減する方策として「中継輸送」といった取り組みが実施されています。



緑ナンバーは「運送のプロ」!

ナンバープレートによる車両の違いを知っていますか?

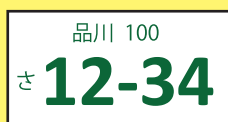
緑ナンバーはお客様の荷物を有償で運ぶ「営業用」、白ナンバーは自社の荷物を自社の車で運ぶ「自家用」です。

緑ナンバーのトラックは、運賃を対価に荷物を運ぶ「運送のプロ」なのです。 ※軽自動車では営業用は黒ナンバー

普通自動車



営業用

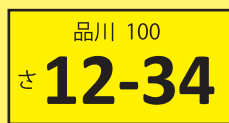


自家用

軽自動車



営業用



自家用



女性も高齢者も!

多様な働き方に対応した職場環境

女性や高齢者の活躍の幅が広がる中、トラック運送業でもそれぞれの事情に合わせた多様な働き方が広がってきています。

職場環境を調べてみると、意外な発見があるかもしれません。

例えば...

子育てに合わせた柔軟な勤務時間

体力面の負担が少ない仕事への配置

女性が安心して長く働ける施設の整備



運転するだけじゃない!

物流業界のプロフェッショナルを目指して

トラックドライバーは、運転するだけだと思いませんか?

ドライバーとして経験を重ねると、後輩への指導、取引先への提案など、より高度な役割が求められるようになります。さらに、リーダー職に就いて仕事全体を管理するなど、**ステップアップ**を目指す選択も考えられます。



トラックドライバーを支える職種

トラック運送業は、ドライバーだけでなく様々な職種によって支えられています。お互いにコミュニケーションを取りながら仕事を進めることが大切です。

運行管理



配車係



倉庫係

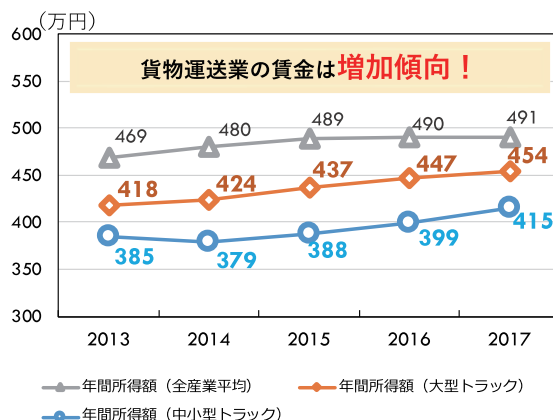


他にも
・営業
・総務
・経理
など

改善が進むトラック運送業

厚生労働省の統計によると、道路貨物運送業の賃金水準は全産業平均に比べて低い水準で推移していますが、増加傾向が続いています。

近年では、標準貨物自動車運送約款の改正、荷主勧告制度の強化等、業界や行政の取り組み等により、労働環境は改善されつつあります。

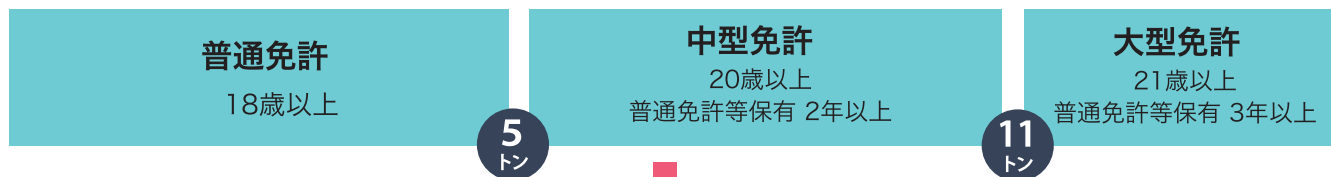


運転免許制度について

これまで大きく分けて3種類だった車の運転免許は、2017年3月から4種類になりました。「準中型免許」の新設により、18歳から運転できる車の範囲が広がっています。トラックドライバーとして活躍するためには、運転するトラックの大きさに応じた免許を取得する必要がありますが、入社後に**免許取得の費用・時間を支援**する事業者もあります。



2017年3月以前



現行制度



トラックドライバーに聞いてみました! **トラック輸送の魅力とやりがい**

トラック運送業界やドライバーにどのようなイメージを持っていますか?

実際にドライバーとして活躍している方々に、仕事の魅力ややりがいについて聞いてみました。

運転するだけでなく、外で多くの人に出会って **人と人のつながり** ができていくことが大きな魅力

「トラックに乗りたい」 という気持ちからスタートしました

個人では行くことのできない **様々な場所**に行き、各地の美味しいものを食べられます♪

「ありがとう」と言われた時が一番うれしい!!



ドライバーという **プロの専門職** であることを誇りに思っています

実はトラックドライバーには **優しい人**が多い!

物流には **大きな社会的使命**があり、自分たちの仕事の人々の暮らしを支えていると思うと、やりがいを感じます

トラックの運転席からでしか見えない **特別な景色**がある!

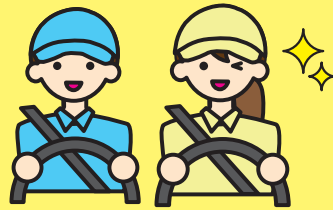
計画に基づいて **マイペース**に仕事ができる!

トラックドライバーに向いているのはこんな人!?



トラックドライバーの方に、どのような人が向いているか聞いてみました。

- とにかく車、運転、トラックが好きの人
- 旅行、ドライブが好きの人
- 人と接することが好きな人
- 気長に落ち着いて行動できる人
- 責任感があって一人でやり遂げたい人



トラックドライバーは、安全第一で皆さまの大切な荷物を運んでいます。
この機会に知っていただければ幸いです。